

**健康・礼儀・努力 (目標達成)**  
 ～何事にも一生懸命に頑張る球磨中央高生～

早いもので、5月も中旬を迎えました。新型コロナウイルスの感染症拡大防止を日々行いながら、教育活動を進めていますが、感染がなかなか収まらず、継続した取組みが日々求められています。そのような中、生徒たちは意識を高く持ち続けながら、授業や部活動等の特別活動に懸命に取り組んでくれています。一日も早く、感染が終息するのを心に秘めながら今後も教育活動を推進してまいります。

**【「球磨地域学」始動】**

本校では、人吉球磨地域の産業、特産品、観光などについて、地元企業や自治体関係者の招聘授業、フィールドワーク等とおして理解し、グループワーク等を行いながら地域活性化策を探究していく「球磨地域学」(総合的な探究の時間)を、全学年、全学科で行っています。人吉球磨地域を理解し、地域を担う人材(人財)を育成する目的もあり、本校の大きな特色の一つです。



5月11日(火)には、3年生の学習が行われました。

講師として、パルティール福寿庵 代表取締役の中村 春喜 様を招聘し、大変貴重な講話をいただきました。全国的な人的ネットワークを豊富にお持ちであり、人吉球磨地域の発展にも長年貢献されてこられました中村様の講話の内容に引き込まれました。サービスの極意や人の見えないうところで努力することの大切さなど、1年後には実社会で活躍する3年生に、勇気と社会人となる自覚を高めさせる様々なご教示をいただきました。



「あいさつができて、自分の時間は人のために使い、人に感動を与えられるような人物になることが大事である」という人格を磨く大切さも教えていただきました。自分のためだけについて時間を費やす傾向がありますが、それだけではなく、人のために自分の時間を使うことが大切であり、そのことが自らの成長に大いにつながっていくことも熱弁いただきました。

この「球磨地域学」の学びは、地域理解はもちろんのこと、自分たちが暮らすこの人吉球磨に、中村様のように実社会で大いに活躍される方がおられることを知ることに大きな意義があります。



今後も、「球磨地域学」の様々な取組みを紹介していきます。以下は、生徒の感想です。

- ・ 3つの「じんざい」がとても印象に残った。私は、言われなくてもできる人財を目指して頑張っていきたい。
- ・ 人にいいことをしたら、自分も心が満たされるような気持ちになれるので、人が喜ぶことを自然にできるような財産の人財を目指して、残りの学校生活を充実させていきたい。
- ・ 中村様のお話はとても重みがあった。生きていく上で一流になれるように、人が見ていない影での努力を怠らないようにしたい。
- ・ 私は、友達がたくさんいる。これは、日頃、人のことを思いサービス精神の大切さを教えてくれた母に鍛えられたお陰かなと、中村様のお話をお聞きしつくづく思った。